令和４年８月１日

らいかい恵子 議員便り 245 号

合志市市議会議員　来海恵子　合志市幾久富 1642－38　☎ 090-9655-1143

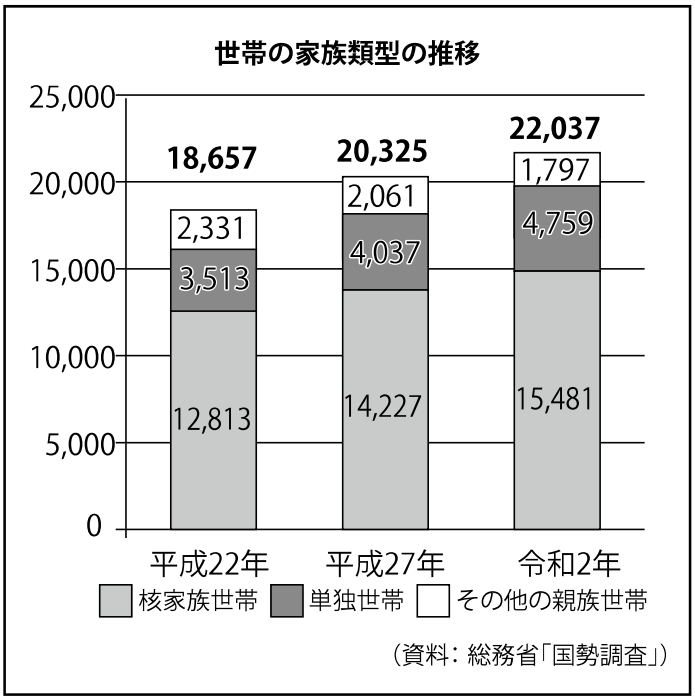
暑中お見舞い申し上げます。7 月後半は戻り梅雨のような天気が続き、コロナ感染者数もうなぎ登りです。私は 4 回目のワクチン接種後に熱が出ましたが、2 日で元に戻りました。夏休み期間中は出かけることも多く、十分気をつけたいですね。来海は、毎月一人で議員だよりを 8000 枚配っています。

結婚への親と子の思い

私には二人の子どもがいて、一人は既婚、一人は未婚です。どちらが良いとか幸せかは私には分かりませんが、二人とも仕事を頑張っていて頼もしいです。いつの間にか立場が逆転して、「もぉ、大丈夫ね？」と叱られることも度々。ただ一度は結婚してほしいと願っていますが、口に出せないでいます。アハハハ(^_-)-☆「おひとりさま」という言葉を最近よく聞くので、先ずは合志市の現状を調べてみました。

合志市の世帯の推移

合併してから 15 年、人口は令和 4 年 6 月末現在で 11,448 人数増えていますが、合志市も高齢化（平成 4 年 1 月末現在高齢化率 24.2%）が進んでおり、単独世帯と核家族世帯が増えています。単独世帯については高齢者の一人暮らしもですが、市内にはアパートやマンションも多くあり若者の一人世帯も多いと推察されます。南部地区では、3 世代同居などが珍しくなっています。みなさんの周りでは、いかがでしょうか？



合志市の男女別・20代～40代未婚率の推移

20 代～40 代の未婚化率の推移は、令和 2 年と平成 22 年を比較すると、合志市では

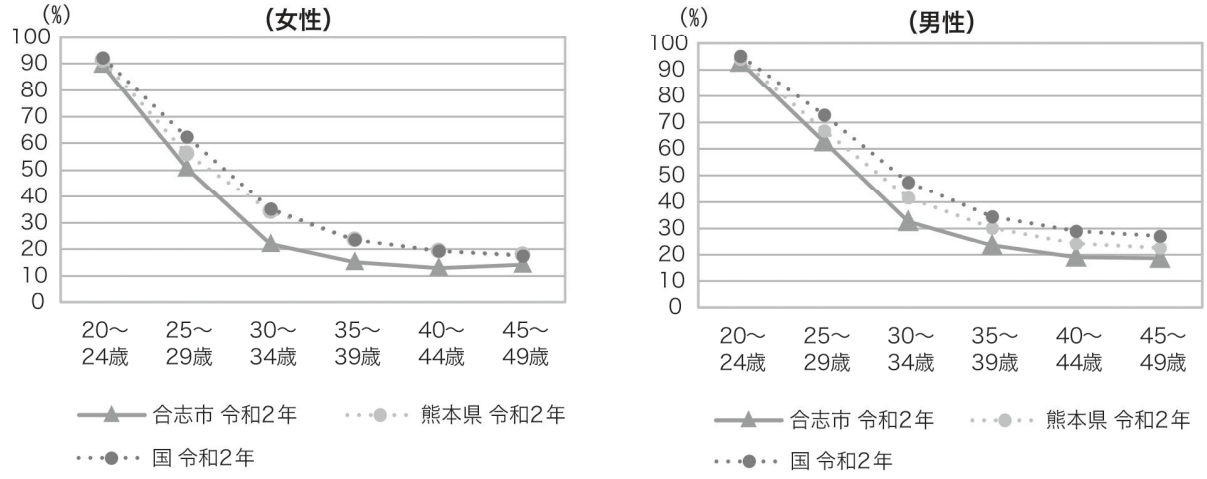
男女ともに 30 代で概ね減少していますが、40 代後半では増加しています。国・県と比較すると、合志市の未婚率は男女ともに、いずれの年齢においても低くなっています。

■男女別・20 代～40 代未婚率の推移

性別	女性						男性					
年齢	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳
平成22年(合志市)	85.8	53.3	28.3	18.8	13.1	10.6	91.1	61.0	35.5	24.9	20.1	16.0
平成27年(合志市)	86.7	51.1	26.4	17.1	15.3	12.0	90.6	60.3	36.1	23.4	19.9	18.9
令和２年(合志市)	89.5	50.6	22.1	15.1	12.9	14.2	92.8	62.7	32.5	23.6	19.1	18.7
令和２年(熊本県)	91.3	56.0	34.2	23.7	19.5	18.0	94.0	67.0	41.6	30.2	24.3	22.6
令和２年(国)	92.3	62.4	35.2	23.6	19.4	17.6	95.2	72.9	47.4	34.5	29.0	27.2

（資料：総務省「国勢調査」）

■年代別未婚率比較（合志市、熊本県、国、令和２年）



親の思い

これは、あくまでも親としての私の思いです。私は 23 歳で、大学の同級生と結婚して熊本県人になりました。四国で育った 18 年間の何倍も熊本で暮らし、関西なまりの怪しい熊本弁をバリバリ喋っています。母は近くに嫁がせて、「今日は○○が安いから買い物に行こう。」とか、「おかずを取りにおいで。」などのやり取りや、孫にいつでも会えるような暮らしがしたかったのだと思います。平凡でも穏やかな生活を！！今、自分がその立場になって初めて母の気持ちが痛いほど分かります。

結婚して 4 年間は、妊娠しませんでした。毎朝婦人体温計で測り、高温が 1 週間続くと産婦人科にグラフを持っていき、先生の顔を見ると生理になる繰り返し。ありとあらゆる不妊治療をしました。親戚の集まりに出るのが一番苦痛で、「まだね？」と言われて帰りは車の中で泣いてばかり。子供のできない女の人を、石女（うまずめ）と言います。「もういいや、

四国に帰ろう！」と開き直ったら、妊娠してビックリ。素直に嬉しかったです。出産する 10 日前まで働き、性別は事前に聞けば分かるのに楽しみは取っておき、生まれた瞬間は性別より何より「先生、無事に生まれましたか？」と。「大丈夫！」の答えに安心して、「どっちですか？」「男の子ですよ。」嬉しくて、涙がこぼれました。熊本で出産したので、母が四国から来て１ヶ月傍にいてくれました。義理の両親も優しかったのですが、やっぱり母には安心して甘えられました。その時です。女の子が生まれたら、お産するまでは何が何でも生きていなければと決意。二人目は女の子が生まれましたが未だ・・・。孫の子守も体力がいるので早いうちにと願っていますが、結婚は思うようにはいきません。この年になっても経験しないと分からないことばかりで、娘もいつか私の気持ちが分かる日がくるでしょう。

私は、お見合いはしたことはありません。以前は、親戚や保険の外交さんなどがお世話してくださる方がいました。今は、お世話してくださる方やお仲人さんもいなくなり様変わりです。自立して仕事に趣味にと頑張っている娘に、「誰かいないの？」と聞くことすらできない母です。いろんな生き方があるのは分かっていますが、家庭を持って子どもを持って欲しいと願うばかりです。先月、出雲大社に行く機会があったので神様に娘のご縁をお願いしてきました♡内緒です。(^_-)-☆

子の思い

先日、「20 代の男性の 4 割がデートの経験がない。」とテレビや新聞で大きな話題になり、私もびっくりしました。が、若者たちは案外冷静に受け止めている気がします。

評論家やコメンテーターが、恋愛以外の選択肢が増えた。」「コミュニケーションの取り方が分からない男子が増えた。」「ネットなど、自分だけでも過ごせる多様なツールが増えてきたこともある」等々いろいろな意見が述べられていました。昭和の時代も誰もがデートした訳でなく、お見合いなどの紹介がありました。今の親は私も含めて、本人の意思に任せると構えているので中々言い出しにくいのではないでしょうか？また、コロナ禍で 3 年間「外出するな、人と会うな、飲みに行くな、マスクして黙食」と言われ続けた結果が要因の一つではないかと推察します。

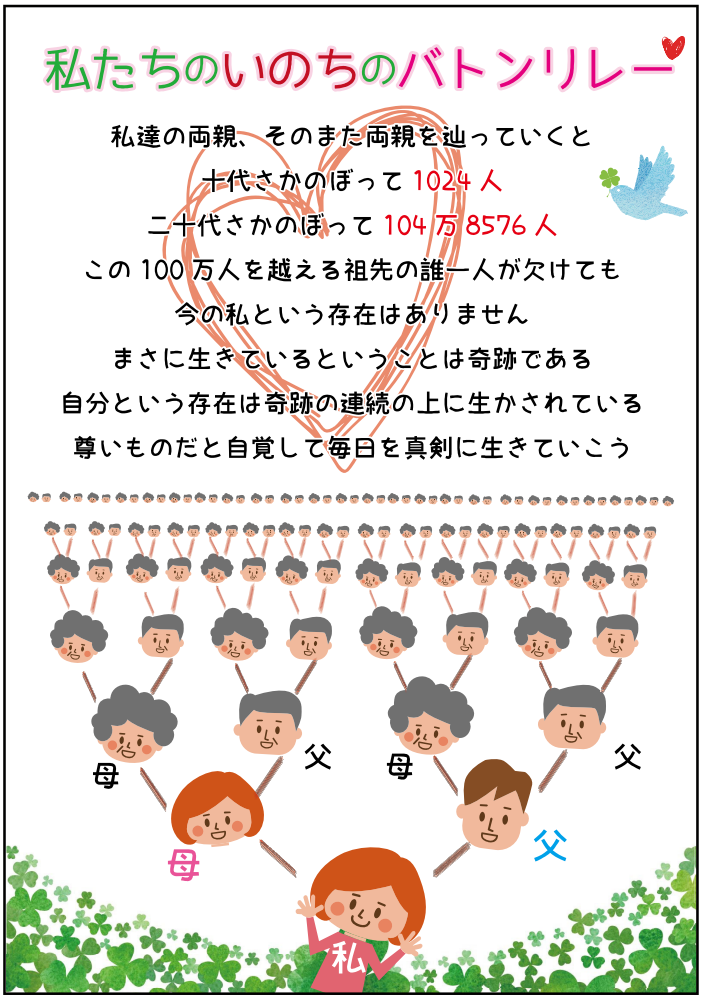
コロナ禍でシングルマザーや非正規女性の貧困があぶりだされましたが、男性にも格差が広がっています。40 代～50 代でみると、既婚男性の 33%は年収700万以上あるのに対し、独身・一人暮らしでは12%。片や年収300万円未満は独身・一人暮らし 39%、既婚9%だそうです。これも、要因の一つではないでしょうか。

私が議員に初当選した平成 14 年当時は、旧合志町で農家の男性とまちの女性の合コンがありました。NPOで婚活をしている団体や合コンの催しが度々ありますが、本人が応募しないとどうにもなりません。マッチングアプリで結婚して、幸せな友人もいます。

子どもは、親が思っている以上にしっかりしています。「結婚しないから不憫。」「子どもを産むなら若いうちに。」と余計なお世話と分かっていても親としては心配でたまりません。我が子を世界一幸せにしようと思っていましたが、いろいろな事情で離婚しました。結婚したから必ず幸せになるとは限りませんが、それでもしたからこそ二人の子供に出会えたと感謝しています。人間は生まれた時から、死のゴールに向かっています。最後は本人が、「生まれてきて良かった！」と思える人生を送ってほしいです。もう、母ちゃんは口出ししません。自分の人生は、自分でしかどうにもなりません。世界中の未婚の人たちに、素晴らしい出会いと人生がありますように♡

いのちのバトンリレー

結婚しても、しなくてもいい。これだけは、覚えていてください。あなたが存在しているのは、両親がいる。その両親には、それぞれの親がいてと、延々といのちのバトンが繋がれてきたからです。生きていれば楽しいことばかりではなく、辛いことの方が多いかもしれない。だからこそ、優しくされたら嬉しい！あなたの命は一つで、尊く素晴らしい。先祖に感謝して、毎日を大切に生きてください。「生きてるだけで丸儲け！」自分の応援団長は、自分です。「頑張れ自分！」と、笑い飛ばして。アハハハ(^_-)-☆



お父さん・お母さん、生んでくれてありがとうございました。二人の子どもたち、私の元に生まれてきてくれてありがとう！みなさん、出会ってくださりありがとうございます。

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38　来海恵子　FAX 096-248-8956
Mail rai-ok@nifty.com　http://raikaikeiko.info/　らいかい恵子　検索